DIP スイッチ · 出力試験

対象基板とスイッチ横の ON 表示を確認してください。目的の機能に記載されたスイッチだけを ON にし、残りは OFF にします。

図は ON 方向を上にして示しています。操作時は実際の基板の ON 表示に従ってください。

通常運転

ON 番号: なし



2 mA 固定出力

ON 番号: 8



4 mA 固定出力

ON 番号: 3



10 mA 固定出力

ON 番号: 4



20 mA 固定出力

ON 番号: 5



> 2024年12月の社内完成版では DIP 4 番の試験出力は 10 mA です。旧基板は納入資料と照合し、実測電流を確認してください。出力試験は実際のガス応答試験の代わりにはなりません。

DIP スイッチ · 校正

出力校正は訓練を受けた保守担当者が、指定手順と正確な基準計器を使用して行ってください。

4 mA 基準を増加

ON 番号: 1, 2, 3



4 mA 基準を減少

ON 番号: 2, 3



20 mA 基準を増加

ON 番号: 1, 5



20 mA 基準を減少

ON 番号: 2, 5



SPAN 校正

ON 番号: 4, 6, 7





保存ボタン / ENT

原本の保存ボタンを基にした機能図です。実際の位置と保存操作は適用基板で確認してください。

> 20 mA UP は 1・5 番が ON、2 番は OFF です。2024年12月の社内完成版のスイッチ図と照合済みです。

作業手順と通常状態への復帰

01 作業準備

型式、基板、ファームウェアと作業前のスイッチ状態を記録します。電流試験・校正が警報と連動に及ぼす影響を関係者と確認します。防爆機器のカバーは、電源遮断と安全な雰囲気の確認後に開けます。

02 機能の選択と確認

目的に合った DIP スイッチだけを ON にし、試験電流を計器で確認します。4 mA・20 mA 基準の調整には、承認された保守手順と正確な基準計器を使用します。

03 SPAN 校正

7 番を ON にしてから 4・6 番を ON にします。指定の標準ガスを 500 mL/min で最低 60 秒間、かつ安定するまで供給し、ENT を一度押します。LED が 3 回点滅することを確認します。

先に 7 番を ON



続いて 4・6 番を ON



04 保存と復帰

出力基準の変更は対象基板の保存ボタン手順に従います。標準ガスを取り除き、DIP をすべて OFF に戻します。出力・警報・通信・連動の正常復帰を確認し、作業を記録します。

作業完了後はすべて OFF

本書は DIP 操作の簡易確認用です。設置・配線・ゼロ調整・故障対応は PGR-TR 取扱説明書も参照してください。

根拠：社内 DIP 設定完成版 2024.12 · 図示改訂 2026.11.03